

平成 21 年度 FSRJ 賞

功労賞

財団法人 生産開発科学研究所 奥 彬 殿
「本研究会の発展と展開に関する功労」

社会は流動的に良くも悪くも変化し、望ましい方向への変化は、社会を担う意識を持った人々のぶれない思想と目標がないと実現できません。技術や学問だけに囚われず、その時の経済や政治にも流されず、望ましい社会への改善に広く力を貸すのは容易ではありません。本研究会が研究対象とするのは、めまぐるしく変化する工業化社会とそこで役立つ技術ですから、変化を先読みして行動を変態させてゆくことは必須で不可避だと私は考えてきました。歴史を読むと、思想や理念が正しければ大方の結果は正解と出るからです。

本会創立後 10 年目の変革をお手伝いしたことで今年の功労賞を頂きました。これはすなわち本会が思想ある変革を続ける覚悟を持たれたのだと思い、このことに関わられた多くの方々の代表として賞を受けました。故佐藤芳樹元副会長をはじめ本会に尽くされた多くの人たちを念頭に刻み、賞を分かち合います。



研究功績賞

日本大学 澤口 孝志 殿
「汎用プラスチックの精密熱分解を基盤とした
ケミカルリサイクルに関する研究」

期せずして榮譽に浴したことに心より感謝申し上げます。30 数年前に着想し蓄積していたデータを 10 数年前に一気に発表した論文が評価されたと理解しています。真下会長から私立大学人が受賞することは滅多にない？とお褒めのお言葉を頂戴し喜びを嘯みしめています。高分子の科学的アイデンティの一つである高分子反応論 [故三田達著“高分子の熱分解機構”、神戸編「高分子の熱分解と耐熱性」培風館、1974] を幾分進展できたかなと思っています。プラスチック循環の基礎化学が革新されることを大いに期待しています。



技術功績賞

シャープ株式会社 隅田 憲武 殿
福嶋 容子 殿
「自己循環型マテリアルリサイクル技術
の開発と事業化」

この度は、技術功績賞という名誉ある賞をいただきまして、心より感謝申し上げます。本研究は、使用済みの家電製品から排出するプラスチックを繰返し再生・利用するプラスチックの高品位なマテリアル



リサイクル技術です。資源小国のわが国において、化石資源の使用量を可能な限り削減するモノづくりは循環型社会の構築において重要な位置づけにあると考えております。今回の受賞を大きな糧とし、さらなるリサイクル技術の研究に邁進してまいりますので、今後とも、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

研究進歩賞

国立大学法人静岡大学 岡島 いづみ 殿
「超臨界・亜臨界流体を用いる熱硬化性
廃プラスチックの化学リサイクル技術と
実用化に関する研究」

この度は研究進歩賞という、名誉ある賞をいただきまして誠に光栄です。この間、亜臨界流体や超臨界流体を反応場として、最近熱硬化性樹脂を中心にプラスチックのリサイクルに関する反応を研究してきました。今後もリサイクルに関する研究を続けていきたいと思っておりますので、皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。



研究進歩賞

早稲田大学 関根 泰 殿
「ポリオレフィン系プラスチックの
ガス化・油化のための担持金属触媒
プロセスの開発」

FSRJ 研究進歩賞を受賞でき、大変光栄に思います。藤元先生の助手の時に活性炭担持鉄触媒を用いたポリオレフィンの油化を手がけ、以後ポリウレタンの水素化分解やPVCの油化・ガス化などを研究して参りました。現在小職の研究室では反応の低温化を一つのキーワードに据え、触媒の高性能化を研究しております。今後とも油化・ガス化などの分野で世の役に立つ研究を進めたいと思います。ご指導のほどよろしくお願い致します。

